

資料 2. 騒音補足資料

1. 騒音による健康影響について

石竹^{※1}らは、下記に示す居住環境の条件等で健康影響（睡眠障害）のリスクファクタとなる可能性を指摘した。

- ①風車音として自覚的に聞こえる場合
- ②風車からの住居までの距離が近い場合（1,500m 以内）
- ③風車騒音と残留騒音の差が 5dB 以上の静穏地区に居住している場合

注) アンケート対象となった事業は法アセスの対象になる前のものである。

超低周波音 (<20Hz) は閾値以下であり、健康への影響は考えにくい。

2. 風車音以外の要因が地域住民の健康や社会的受容に与える影響について

本巢^{※2}らは、風力発電所に対する賛否や風車音の不快感は、距離ではなく建設過程における住民への配慮といった事業の進め方と関連があるとしている。従って、風力発電所による近隣住民の健康影響や賛否は、風力発電所からの近さによって決定づけられるのではなく、事業のやり方や風車音の不快感などその他の要因によって影響を受けると判断できるとしている。

石竹^{※3}は、風力発電施設導入時に利害関係者間（事業者、行政、住民等）のコミュニケーションを十分にいき、事前に十分な合意形成を得ることが重要であるとしている。

また、尾形^{※4}は、事業者が地域特性を熟知した行政やアクターとの協働関係を構築し易くするような条例や法制度等の社会的仕組みを構築することが重要となると指摘している。

※1 石竹達也・原邦夫・森松嘉孝・久保達彦・藤野善久，風力発電施設による超低周波音・騒音の健康影響に関する疫学調査，日本音響学会誌，Vol. 74，No. 5，2018，pp. 280-285.

※2 本巢 芽美・丸山康司，風力発電所による近隣住民への影響に関する社会調査，日本風力エネルギー学会 論文集，Vol. 44，No. 4，2020，pp. 39-46.

※3 石竹達也．風力発電施設による超低周波音・騒音の健康影響．日本衛生学雑誌 2018、73、298-304.

※4 尾形 清一（2015）「風力発電騒音問題の社会的要因に関する研究—M市における風力発電事業の事例」『環境情報科学・学術研究論文集 29』235-240.